

令和 6 年度 大学塾 第 1 ステージ 開催講座 案内

日本経済入門 2024 ～中国・人口・賃金～

最近の日本経済をめぐる状況を見ると、対外的には成長が続いてきた中国経済の減速が日本経済にもマイナスの影響を与え始めており、国内経済の長期動向では、人口減少に歯止めがかからず国民の不安感が強まる一方、短期動向では長く伸び悩んできた賃金に上昇の兆しが見られています。

本講座では、①中国経済の変貌と課題、②我が国の人口動向の見通しと課題、③日本の賃金の特殊性と課題について 3 回にわたり内外の最新のデータや図表を用いて分かり易く解説します。



毎回 土曜日 午後 2 時～ 4 時

回・月日	講義内容	講師
第 1 回 4 月 6 日	中国経済の変貌と課題を考える GDP 世界第 2 位の中国経済の急激な減速が日本や各国に大きな影響与えていることを踏まえ変貌の現状と課題を考えます。	<small>ゆたか</small> 柴田 寛氏 元農林水産省 課長職 農林水産省で農業白書及び旧経済企画庁で国民生活白書の執筆に携わる、 在職中は調査・企画の業務担当。(足立区在住)
第 2 回 4 月 13 日	我が国の人口動向の見通しと課題を考える 改定見通しで長期的な人口減少が鮮明となり、国民に不安感が強まっていることを踏まえ人口動向の意味と課題を考えます。	
第 3 回 4 月 20 日	日本の賃金の特殊性と課題を考える バブル崩壊以降、長期間伸び悩んできた賃金に上昇の兆し見られることを踏まえ我が国の賃金の特殊性と課題を考えます。	

令和 5 年「わたしと年金」エッセイコンクール

崎山みゆき様の「わたしと年金」エッセイが「優秀賞」を授賞

当会顧問、崎山みゆき様が、日本年金機構 令和 5 年度「わたしと年金」エッセイコンクールに於いて、優秀賞を授賞致しました。日本年金機構は、厚生労働省と協力して、11 月を「ねんきん月間」、11 月 30 日を「年金の日」とし、年金制度に対する理解を深めていただくため、公的年金制度の普及や啓発活動を展開しています。この取り組みの一環として、広く皆さまから公的年金をテーマにしたエッセイを募集、初めての応募でしたが 1,609 件の中から見事入賞「優秀賞」を授賞されました。

我が国の超高齢社会対策として「年金」は重要なキーワードですが、納付に対する理解が得られにくいと思います。このエッセイが社会の役に立てばと願います。との崎山様がコメントをされています。

授賞された入賞作品は、日本年金機構 わたしと年金エッセイ 下記のリンクより閲覧できます。

<https://www.nenkin.go.jp/info/torikumi/nenkinessay/20231130.html>

(広報 G 担当)

2月12日(月・祝日)午後2時~3時30分、NPO法人「楽学の会」設立20周年記念特別講演会として、「北野大氏 環境問題を語る」が生涯学習センター(学びピア21)にて開催された。



これは「楽学の会」が2003年に東京都よりNPO法人として認可され、その20周年を記念するものである。20周年記念事業としては①記念誌の発行②記念講演会の開催③記念祝賀会の開催が3本柱であり、既に記念誌は12月に発行され関係各方面に配布され、記念講演会と祝賀会がこの日に開催された。応募人数を超える応募を頂きましたが、残念ながら応募者の約半数が落選となった。

北野大氏は1942年足立区の生まれで現在81歳。足立四中・上野高校を卒業され、千葉大学を合格するも“おふくろ”の意向により、明治大学理工学部に入學し(北野家の様子がうかがわれ微笑ましい)、卒業後に大正製薬に就職するが、学者の道を目指して東京都立大学工学研究科で修士・博士課程を修了し、分析化学の専門家として、現在の化学物質評価研究機構・化学品検査協会を経て、1994年から淑徳短期大学・淑徳大学教授を経て、2006年母校の明治大学理工学部教授となり2013年定年退職されました。

その後淑徳大学名誉教授、2017年より秋草学園短期大学学長に就任され現在は理事長も兼任されている。現在足立区在住ですが、所沢の秋草学園まではエコのため電車で通勤されている。最近は環境問題のご講演が多く、今回は「現代の環境問題について」講演された。環境問題の発生過程・公害関連年表・環境基本法など、基本的な事項を説明されたうえで、環境問題の発生による4つの被害として①健康②財産③生態系④アメニティをあげられた。環境保全の手法としては①規制的手法と②金銭経済的手法が紹介された。地球環境問題は一つの国では対処できず、複数の国にまたがり、①先進国の工業化と②途上国の人口増加が原因となっている。気候変動問題は温暖化ガスの排出の抑制が必要であり、COP28の内容が紹介された。日本の温暖化対策は発電の76%が化石燃料であり、太陽光・風力・水力・地熱などの再生可能エネルギーの利用が必要である。最後に「少欲知足」を提唱された。北野先生は弟の北野たけし氏と共に足立区を代表する文化人であり、穏やかでユーモアのあるお人柄があふれた講演で、会場は終始暖かいムードに包まれていた。終了後に祝賀会にも参加されお祝辞をいただいた。



(糸井史郎)

受講者の言葉

☆地球温暖化と言っても、もの凄く複雑で難しいものだよなーと改めて実感いたしました。物価高やサービス料の上昇も政治がすべてではなくて、世界的な問題と繋がっていて、私自身、理解がまだまだ必要で、一人一人が知識を深めて出来ることをとにかく些細な事でもやっていく他ない事と、生きて行く為の大事な問題なんだと強く思いました。とても興味深くて、たくさんメモさせて頂きました。20代、まだまだできる事はいっぱいあるので、今日の講座も思い出して意識していきます。(20代女性) ☆環境保全の手法にデポジット制度(製品価格に貯宅金を上乗せして販売)や汚染者負担の原則が導入されない事は抑制、防止に繋がらないという事を理解。国の政策が転換されることを願う。次の世代により環境を継承するために欲求を抑える。(50代男性) ☆(環境問題)という大きなテーマを身近な話題や世界的な視野に基づいた内容でとても理解しやすかった。これまで漫然としか考えてなかったが、今後は自分でできることでCO2排出しないよう気を付けて意識したい。(60代女性) ☆内容盛りだくさんで、聞きごたえがありました。環境問題について色々な視点から触れる事ができ、今日の講義きっかけにニュース等もっと深く理解と考える事が出来る様になると思います。(50代女性) ☆ユーモアを混ぜながら楽しくお話を聞くことが出来ました。環境問題を考える事は必要である。日々の生活で衣・食・住をしっかりと考えましょう。ごみ問題も重要でありますね。(80代女性) ☆刺激的な内容で、これから大変なことに成ると改めて思いました。(70代男性) ☆難しい内容のお話を、分かりやすく、楽しく拝聴できた事はとても素晴らしいことだと感じました。“足るを知る”肝に命じます。(60代男性) ☆わかりやすかったです。平成の時に一度講演会に行きました。個人での環境に対する取り組みを改めて認識(必要性)しました。令和になり新しい講演(内容)を直接勉強できてよかったです。常に情報は更新されるので学びは大切ですね。次世代が住みやすい環境であって欲しいです。これからも、健康に気を付けて下さい。次の講演も参加したいです。(30代女性) ☆改めて忘れていた知識も多く再認識させて頂きました。人間生きている以上は勉強する必要だと思います。今迄も他の講座等受講しましたが少額の費用で利用できて感謝いたしております(20代女性)



(受講者アンケート抜粋)

フリーアナ松坂貴久子のアンチエイジング朗読



2月7・14・21日(水)の3日間にわたり、生涯学習センター第4研修室において開催された。講師はフリーアナウンサーの松坂貴久子氏。元静岡テレビアナウンサーで、現在、日本朗読文化協会会員、朗読教室講師、話し方・暮らしのマナー・ヘルシークッキング講師、三郷工業技術高校アナウンス部指導等を行っている。応募者は36名。受講者は34名。出席者累計は83名であった。受講者は足立区の朗読団体会員や未経験者・童話作家など幅広く、女性の割合が多かった。

「朗読」は読書や音読と異なり、正しい発声や発音により、情感豊かに表現するので、音楽の演奏や演劇に近く、文学的な素養も必要な、高度に文化的な活動である。アナウンサーや俳優などのプロの朗読会のほか、全国各地でアマチュアの朗読会が開催されている。足立区民大学塾にとっては新ジャンルの開拓となった。



第1回は「声を出してみましょう(音読・朗読の基本)」で、心身のコンディションを知る20のチェックポイント・読み方の区別・発声練習の基本・ロじゃんけん・表現の幅などの基本が紹介され、実際に声を出して訓練のこつが紹介された。



第2回は「朗読を楽しみましょう(朗読を深める)」で第1回と同様の基本訓練の後に、講師が用意した昔話(蛙になったぼたもち)・古典(枕草紙)・随筆(あくび)・小説(蜘蛛の糸)・詩(いのちの歌)の5つのジャンルの朗読材料を用いて表現力を学んだ。

第3回は「短い朗読をやってみましょう(朗読ミニ発表会)」で、基本訓練の後に、出席者全員参加の朗読会となった。原稿は講師が用意した5ジャンルのほか、新聞コラム・自作の童話・好きな本の抜粋など、発表者が選んだ作品の朗読が行われ、講師から一人一人適切なコメントが送られた。



朗読は①朗読を聴いて楽しむ②自分が朗読をして楽しむ③仲間と共に楽しむの、三つの楽しみがあるが今回の講座はそれがうまくかみ合ったように思われる。



受講者の言葉・アンチエイジングに必要なケアや朗読の基本等、わずか3回でしたが内容が充実していました。初めての方も既に朗読をたしなむ方にも、新しい気づきを学ばせて頂きました。2分間の朗読発表は、人前で話をする良い機会になると思います。受け身だけの講座よりもはるかに参加する意義を感じました。定期的な講座に期待します。・先生が楽しく講義して下さるので、本を読む事の意味、今までばたばた流して読むだけだったけど、意味を考えて読む、声を出して読む事の意味。楽しいご指導ありがとうございました。・初めて朗読にふれた人たちにとって、とても分かり易い講義だったと思います。味のある作品の読み方は読み手の内面が表われるのであって、ただきれいにすらすら読めば良いということではない。このことを心がけて朗読を続けて行きたいと思います。もう一度チラシのリード文を読んで元気が出ました。・第1回目から姿勢を正し、腹式呼吸、発声練習など、実践中心の楽しい講義でした。3回目の1人1人の発表も、それぞれの個性があらわれていて良かったです。ありがとうございました。・同席の方と一緒に参加する講座は初めてでしたので、はじめは2回目からの参加と考えましたが、“始めたんだから”と自分に言い聞かせ最後まで参加できました。普段経験できない時間が過ぎました。・今回はとても勉強になりました。声を出して表現することの楽しさと難しさをあらためて知りました。アンチエイジングにはとても役立つと思いました。これからも朗読を聴いて学んで行きたいです。(糸井史郎)

「楽学の会」NPO 設立 20 周年記念祝賀会 開催

NPO 法人設立 20 周年記念事業の最後のイベントは祝賀会で、2 月 12 日特別講演会終了後 16:30 より開催されました。会場は北千住の和食ビストロ「寛」にて開催され、来賓として特別講演会講師の北野 大様、生涯学習センター鳥塚春樹副所長、当会顧問の高井 正様、崎山みゆき様、足立朝日編集長の竹内吉晴様が多忙中ご出席頂きました。出席者は当会会員含め 20 名でした。



祝賀会は福田哲郎 事務局長が司会を務め、糸井史郎代表代行が開会挨拶。NPO 設立 20 周年記念事業として記念誌の発行、特別講演会、祝賀会の開催ができたことはよかったと挨拶された。乾杯は 20 周年記念誌編集委員長の金子勝治氏の音頭でスパークリングワインで乾杯しました。その後 出席者全員より 20 周年へのメッセージを述べて頂きました。



北野 大様は「きょうよう」（今日用がある）と「きょういく」（今日行く所がある）が大切である。高井顧問は「楽学の会」発足の経緯を解説され足立区社会教育委員会で高齢者の生涯学習振興策に答申立案に参画し「楽学の会」発足に貢献できた。崎山顧問からは学習支援ボランティア養成講座から関わってきました。NPO 法人は維持していく事が重要で「楽学の会」も 30 年、50 年と頑張ってもらいたいと挨拶された。生涯学習センター鳥塚副所長よりヤオキン商事株式会社が指定管理者として生涯学習センターの施設管理運営を担当して 15 年となる。わがままな「楽学の会」の皆さんと一緒にやっていますが一緒に事業発展させていきたいと思いますと挨拶された。



その後会員、元会員より挨拶いただきました。篠原英也代表理事からは令和 2 年から 3 年間は新型コロナウイルス感染症との戦いでした、あだち区民大学塾は緊急事態宣言、まんえん防止等重点措置の発令で生涯学習センターが使用できなくなり、講座は中止、延期の対応に追われました。また開催講座も定員制限など受講者にご迷惑をお掛けしながらの活動となりましたが、開催した講座には多くの区民が参加して頂き学習意欲の高さを感じました。無事故で乗り切ることができ関係者のご支援ご協力に感謝しますと挨拶。



元事務局長の江川武男さんは久しぶりに参加され元気な姿をみせられました。また 2 期生の染野絢子さんは当会のホームページ創設者として約 10 年ぶりに高崎より参加されました。会員の皆さんからは「楽学の会」への入会年と「楽学の会」での活動の思い出と今後の抱負が述べられました。初期から活動された会員も出席され、旧交を温め和やかな祝賀会となりました。最後に糸井代表代行より閉会の一本絞めでお開きとなりました。
(福田哲郎)

令和6年2月 運営委員会 報告・連絡

日 時 : 令和6年2月1日(木) 14:30~
場 所 : 生涯学習センター : 5階 研修室 4

代表挨拶 : 報告および提案 : 糸井代表代行

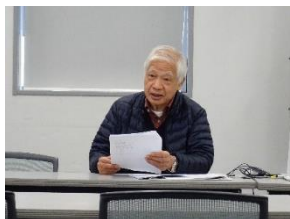
20周年事業は①記念誌、②記念講演会、③祝賀会の3本柱で、記念誌は完成していますので、2月12日の講演会と祝賀会について事務局と金子さんに準備をお願いしていますので皆さんご協力をお願いします。その後に総会・役員人事・8月以降の講座企画などがありますので、皆さんそれぞれご意見を纏めておいてください。(1)

議 事

- (1) 情報交換
 - ・ 当会元代表理事 市川茂敏氏 昨年7月ご逝去されました。
- (2) 月例会開催について
 - ・ 1月15日(月・休) 9:30~ センターの防災訓練に参加(4名)
 - ・ 2月15日(木) 足立区の文化財について 糸井さん(会員)講演
 - ・ 3月27日(水) 12時~お花見(尾久の原公園) じだれ桜がきれい
- (3) あだち区民大学塾 : 講座企画会議 : 2/1(木)、3/1(金) 検討会議 : 2/15(水)、3/14(木)
 - ・ 1月 大河「光る君へ」~平安の女流文学から学ぶ 榊原金市講師 1/14、21(日) 受講者64名
 - ・ 2月 フリーアナ松坂貴久子のアンチエイジング朗読 松坂貴久子講師 2/7、14、21(水) 応募者33名
 - ・ 3月 足立の伝統工芸 三味線と篠笛 3/22(金) 鈴木祐一講師、3/29(金) 大塚敦講師 締切3/8
- (4) NPO法人設立20周年記念事業
 - ・ 20周年記念誌 : 12/25完成300部(特別講演会配布含む)、12/26ニュース発送時同封、郵送済
記念誌配布先 : 足立区、会員、元会員、顧問、大学塾講師、交流団体他 160部
足立区生涯学習支援課へ12/26持参、報告。生涯学習支援課より地域学習センターへ送付頂く。
1/10 足立区 : 工藤副区長、大山教育長、田ヶ谷生涯学習支援室長、松野総務部長へ報告した
 - ・ NPO法人設立20周年記念特別講演会開催
令和6年2月12日(月・祝) 14:00~15:30 研修室1 定員90名(抽選) 受講料無料
講師 北野 大氏(秋草学園短期大学学長)「環境問題を考える」1/29締切
2/1現在応募者 152名(はがき99、メール53) → 抽選80名+招待者8名 に受講票送付^{ひろ}
 - ・ 祝賀会開催 : 2/12(月) 特別講演会終了後16:30~開催する。場所 北千住 和食ビストロ「寛」
1月案内。案内先 : 会員、元会員(役員)、生涯学習センター、足立区生涯学習支援課、足立朝日
会費無料とし会で負担する(20周年事業費)
(出席予定者(2/1現在)20名、会員15名、元会員1名、顧問2名、北野 大氏、報道1名)

次回 運営委員会 2月1日(木) 14:30 から(研4)

令和6年2月月例会 開催報告(2月15日)



2月の月例会は、会員で足立区の文化財保護指導員をされている糸井史郎さんに「足立区の文化財について」12ページにわたる資料を作成して頂き、講演していただきました。

足立区には指定文化財が13件、登録文化財が611件(令和4年)あり、23区では江東区に次いで2番目に多いそうです。年度によって増減があるそうですが、毎年600件以上の文化財を11人の文化財保護指導員(非常勤職員として委嘱)で年3回巡視し、破損や劣化などが無いかを確認して区の文化財係へ報告します。

糸井さんは100件ほどの文化財を担当しているそうで、10年もの長期間に及んでいます。広い足立区の中を歩き回り、保管に問題がある時は所有者や管理者をお願いしたり、区への要望を取り次いだり、メンテナンスの依頼などをするとのことですが、予算が少なく難しいこともあるようです。また、文化財保護指導員は文化財の普及活動も担っているそうで、特別公開事業やイベント時には解説員や補助員としての役割があるそうです。

ほぼボランティアに近い活動ですが、足立区の歴史に興味があり、健脚でまめに動くことを厭わない糸井さんだからこそできる活動なのだろうと感心しました。



また、この活動を通じて、あだち区民大学塾で2講座を立ち上げ、文化財関係者から区民等へ講義をして頂きました。また講座の中で身近にある文化財の見学も行いました。文化財保護指導員も高齢になったり、辞める方がいたりで不足人員を募集中だそうです。健康で歩くことが好き、歴史や文化財に興味がある、時間に余裕があるなどの方にはうってつけの役割だろうと思います。

糸井さん、講演ありがとうございました。今後も元気で足立区内の文化財を歩き回り、足立区の歴史や伝説などを区民に伝えてください。貴重な講演、多くの会員に聞いてほしかったですね。(ボランティア活動推進部 林令子)

◎講座名：骨が支える健康 骨代謝のメカニズムと食餌改善

あだち100年大学講座

日時：4/7(日) 午前10時30分～正午

対象：16歳以上の方

会場：5階 研修室1

受講料：800円

定員：30人(事前申込先着順)

講師：高橋 信之氏(東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科 教授)

内容：～骨代謝とは～生涯つづく骨の作りかえのサイクル壊して、新しく作りかえての新陳代謝を絶えず繰り返している骨。その代謝バランスが崩れることにより「骨粗しょう症」が引き起こされます。本講座では、骨と健康の関わり、骨代謝のメカニズム、食餌(食事)での改善方法を解説します。

◎講座名：文学散策「林芙美子」 昭和の女性作家をたどる

あだち100年大学講座

日時：4/13(土)・27(土) 午前10時～正午

対象：16歳以上の方

会場：5階 研修室1、4/27は林芙美子記念館(新宿区中井2-20-1)

受講料：1,100円 ※交通費実費

定員：30人(事前申込先着順)

講師：ソコロワ 山下 聖美氏(日本大学芸術学部 教授、林芙美子記念館 解説員)

内容：激動の昭和を生きた女性作家・林芙美子の生涯と文学を巡っていきます。貧乏な幼少期から苦勞を重ね、作家へのし上がった彼女の生きる思想は、作品と、彼女の居場所であった家(現・林芙美子記念館)にどのようなかたちで息づいているのかを探っていきます。



マスコットキャラクターの「ナマガくん」

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
イベント・講座情報→講座予約システム

月例会のご案内

令和6年3月「月例会」のご案内

3月27日(水) 午後12時～2時
テーマ：「尾久の原公園お花見」 予備日：3/28

令和6年4月「月例会」のご案内

4月16日(火) 午後3時～5時
テーマ：「千住宿400年の始まり」学芸員

*皆様の積極的な参加をお待ちしています。
(ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会
3月1日(金) 午後2時半～4時 研修室4
- ◎ 月例会(尾久の原公園 花見)
3月27日(水) 午前11時 北千住駅集合
- ◎ 学習支援部
3月14日(木) 午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
3月12日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
3月4日(月) 午後2時～4時 ニュース発送
3月13日(水) 午後2時～4時 事務局部会
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
3月14日(木) 午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
3月1日(金) 午後1時半～2時半 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
3月11日(月)

★お問い合わせ&ご意見

◎「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444
E-Mail: tefukuda2002@yahoo.co.jp

編集後記

NPO法人「楽学の会」 設立20周年記念事業 無事終了

NPO法人「楽学の会」は、平成15年NPO法人格を取得、足立区・足立区教育委員会・「楽学の会」の3者共催により、行政の方針や施策に基づき区民のニーズを生かし、主に「あだち区民大学塾」事業を企画開催。常に、地域の学ぶ人々の役に立つと共に、学習を通して自己の成長、生きがい、楽しさを育む利他的余暇を実践する団体として会員のスキルを活かし足立区民に学習機会の提供を行ってきました。

この度、NPO法人「楽学の会」設立20周年を迎えるにあたり、記念誌の発行、特別講演会の開催、祝賀会の三つの記念事業を企画開催いたしました。記念誌では、足立区長をはじめ顧問、講師の方達よりの20周年によせての祝辞・メッセージを掲載、「楽学の会」の概要やNPO設立20周年までのあゆみについて、あだち区民大学塾の講座実績、受託事業内容、生涯学習関連団体とのネットワーク、「楽学の会」の各部の活動、活動に対する表彰等40頁におよぶ冊子を発行。足立区所管および区内の生涯学習関連施設、団体等へ配布いたしました。特別講演会では、区民還元事業として足立区在住の著名人北野大氏を講師としてお迎えして「北野大氏 環境問題を語る」をテーマに、かつての公害に代表された「産業型環境問題」から「都市型・生活型環境問題」に変化している現状を皆さんと共に考えて行く講演でした。祝賀会では、北野先生を囲み当会の顧問や会員で20周年の歴史を振り返りました。

20周年記念事業の運営に参加された会員のすべての方たちに改めて御礼申し上げます。令和8年には、「楽学の会」発足30周年を迎えます。会員の減少等で事業運営にも危機感が漂う中、何としてでも頑張つて事業の継続、質の良い講座を企画、広く区民の皆様へ提供して参りたいと思っています。皆さまのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

(広報G 金子勝治)